

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターび〜と（児童発達支援）		公表日 令和8年2月13日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	一日の利用定員に対して、活動内容に寄っては狭さを感じることもあるが、工夫して行っています。	児童が不調時などに、落ち着けるスペースがない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		配置基準は満たしているが、職員の休みや会議等で最低限の時があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	不要な掲示物は貼らないなど工夫しています。靴箱に足型やロッカー名前や写真を貼り、わかりやすくしている。活動によって部屋を区切っている為、子ども達も認識できていると思います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日、子どもの来所前に清掃やアルコール消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	4	パーティション等で区切るなど工夫して対応しています。	個別に落ち着ける場所の確保が難しいです。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	毎月のミーティングで意見を出し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	年1回の事業所評価を実施しています。	取り掛かれる課題については、今後も早急に改善していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	朝礼やミーティング、面談等で意見を伝えることができています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	法人全体で第三者委員会を設置しています。	第三者の外部評価は行えていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	事業所内でも定期的な研修が行われています。外部研修にも参加できる機会が確保されています。	外部研修は勤務調整が必要なため、参加が難しい時があります。ZOOMの研修は参加しやすいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援プログラムを作成し、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	日頃の子ども様子や、保護者との面談の中からアセスメントを行い、ニーズにあった計画がなされています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別支援会議にも職員が参加し、情報共有や意見を出し合っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員間で共有し、支援計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	アセスメントツールを参考にし、発達段階に応じて作成しています。	アセスメントツールの見直しを検討しています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	段階的な課題に取り組めるよう、無理のない範囲で支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員で話し合い決めていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	固定化しないよう情報収集や職員間で話し合いを行っています。	いろんな事業所の活動プログラムを参考にしたり、ネット等を活用し情報収集を行っています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	2	子どもの特性や能力に応じて計画書の内容を設定し、活動内容に取入れながら支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	活動内容や役割分担を確認してから支援に入っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	その日のうちに支援の振り返りを行い、気づいたことなどを終礼で話し共有しています。	どこまで共有すべきか迷うことがあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	支援記録をソフトに入力し、情報共有できています。	記録を入力する時間の確保が難しい時があります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っています。状況によっては相談支援専門員と情報共有しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	子どもの様子がわかる児発管や保育士などが参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	関係機関と連絡を密に取り合っている。現在、医療的ケアが必要な児童は利用していないです。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	担当者会議等や送迎時に相互の情報交換を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	必要な情報共有は行えています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	5		他の児童発達支援センターとの連携は行えていません。他の児童発達支援事業所とは子ども部会等で連携しているが充分ではありません。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	1	4		外部研修の機会はあるが、あまり参加できていません。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	5	0	自立支援協議会の子ども部会に参加しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や連絡帳等で情報共有しています。内容によっては連絡等を行い、共通理解を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	保護者に案内し、ペアレントプログラムを行っています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明しています。	支援プログラムの説明は行えていません。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	担当者会議や面談等で保護者の思いや意向を確認し、職員からも聞き取りを行い個別支援計画書を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	保護者に来所していただき、内容を説明し同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		保護者と会う機会が少ない為、相談に適切に応じることができているかわかりません。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	父母の会はなく、保護者会は開催していません。日ごろ会う機会のない保護者同士が意見交換できる場を設けています。	保護者会を実施しているが、予定していた回数が開催できていません。きょうだい同士が交流する機会が設けていません。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	苦情等があった場合には、事業所内で共有し、迅速な対応を心がけています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	定期的に事業所便りを家庭に配布し、活動内容や様子など発信しています。ホームページでも事業内容等を掲載している。	SNS等は活用できていません。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	契約時に個人情報の取り扱いに関する内容の同意を得ています。日頃から個人情報の取り扱いには気を付けています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		地域との交流はあまりできていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各マニュアルは策定しており、職員には周知し、発生を想定した訓練は実施しています。	各マニュアルを保護者に説明できていません。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	月に1回避難訓練を行っています。業務継続計画の研修・訓練は実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	契約時や面談時に確認を行っています。てんかん発作時に対応について個別に作成し、対応方法を職員で周知しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	契約時に保護者へ確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画に基づき、事業所の設備や遊具の点検等を定期的に行っている。必要な研修や訓練は実施しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	事業所に掲示しています。	周知が十分でないので、契約時や面談時に丁寧に説明できるよう改善します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットは事業所内で共有し、再発防止の為にミーティングで改善方法等を検討しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止についての研修を定期的に行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	必要な児童については、身体拘束適正化検討委員会で検討し、保護者にも理解していただいた上で、個別支援計画書に記載し同意を得ています。		